

小児期の鉄欠乏と発達障害の関連性に関する研究のお知らせ

帝京大学公衆衛生学研究科では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：(2021年11月19日)～ 2025年3月31日

〔研究課題〕

小児期の発達障害と鉄欠乏の関連性 ～日本の小児科診療所の血液データから～

〔研究目的〕

日本国内における小児の血液データを基に鉄欠乏と発達障害の関連性を明らかにすることです。

〔研究意義〕

本研究によって小児における鉄欠乏と発達障害の間に関連がみられれば、今後、女性、妊婦、乳幼児、小児において、フェリチンを用いて鉄の状態を評価し、早期に鉄不足を解消することで、脳の発達障害のリスクを軽減する機会になると考えられます。

〔対象・研究方法〕

2017年8月から2020年12月の間に赤坂ファミリークリニックにおいて血液検査を行った男女15歳以下の患者さんの血液検査、糞便検査（腸内フローラ）、尿検査、AGE（糖化度）検査、重金属ミネラル検査、理学検査（身長、体重、BMI）の値、身体所見、主訴、症状を記したカルテ情報を統計的に分析します。

〔研究機関名〕

帝京大学公衆衛生学研究科

〔個人情報の取り扱い〕

研究で取り扱う情報は、個人の特정이できないように匿名化した上で研究・解析に使用します。情報から、個人の識別ができる情報（住所、氏名、電話番号、生年月日）を削除し、独自の識別コードを付して、どの対象者のデータかを判別できないように加工した上で研究解析作業をします。研究結果を他の医師・研究者と共有し医学の発展に寄与するために学会や論文などで発表をする際にも、個人の特정이一切できない形で行います。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 宮田 敏 （教授）
研究分担者： 垣内 善 （大学院学生）
所属： 帝京大学大学院公衆衛生学研究科
住所： 東京都板橋区加賀二丁目11-1
TEL： 03-3964-1211（代表）
Email： sph-zkakiuchi@med.teikyo-u.ac.jp